

# 経営比較分析表（令和4年度決算）

三重県 玉城町

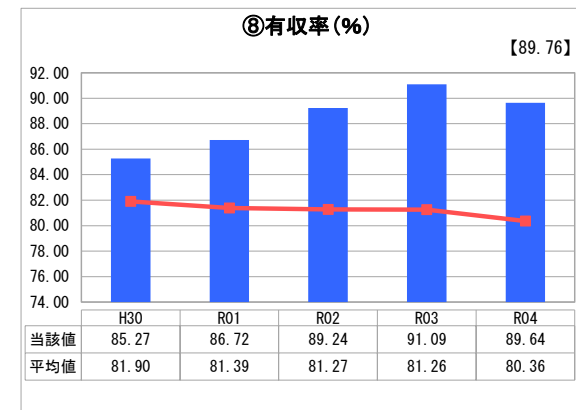
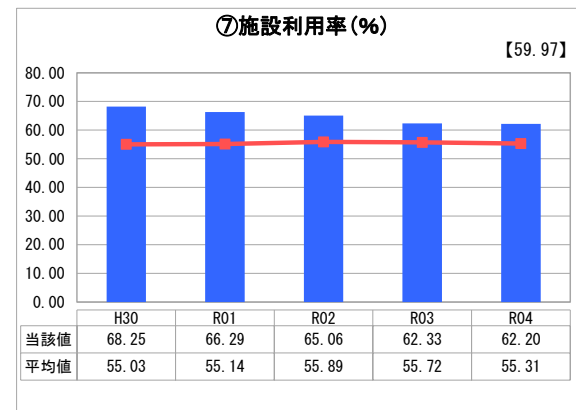
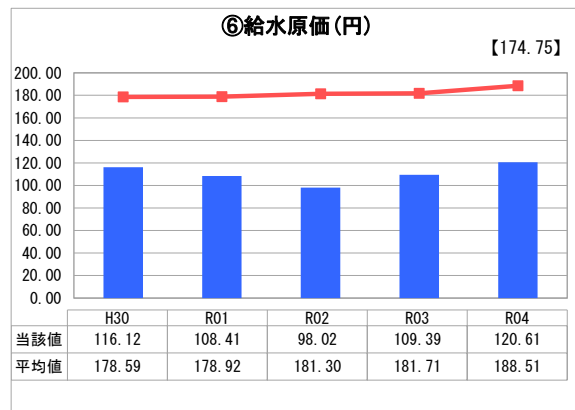
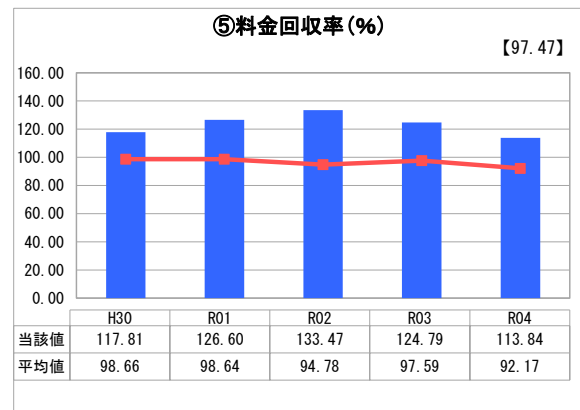
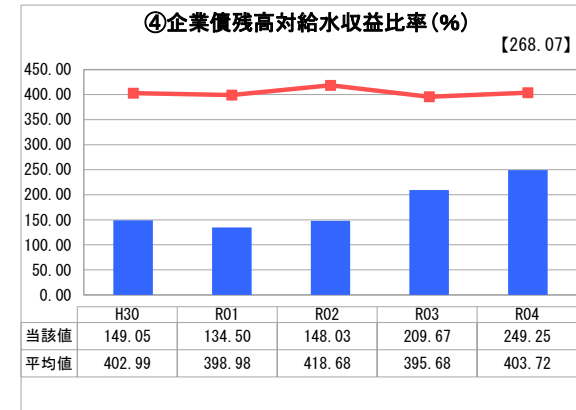
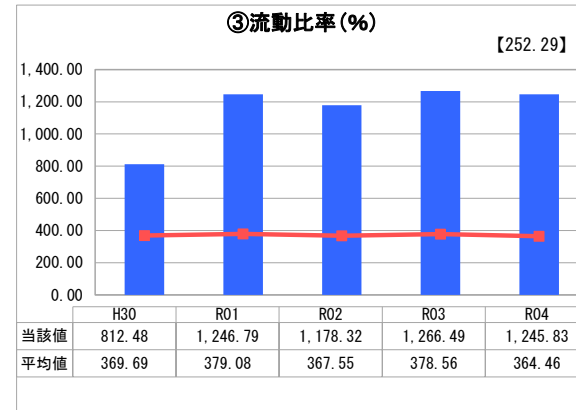
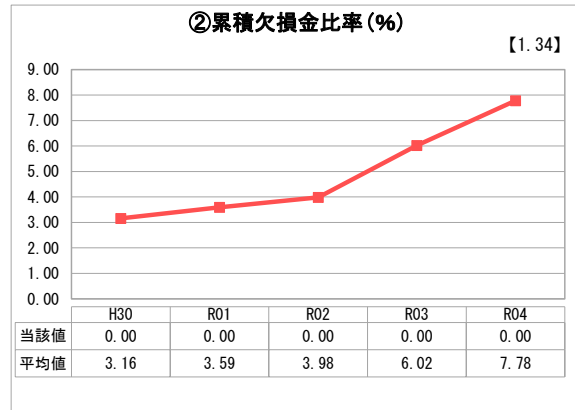
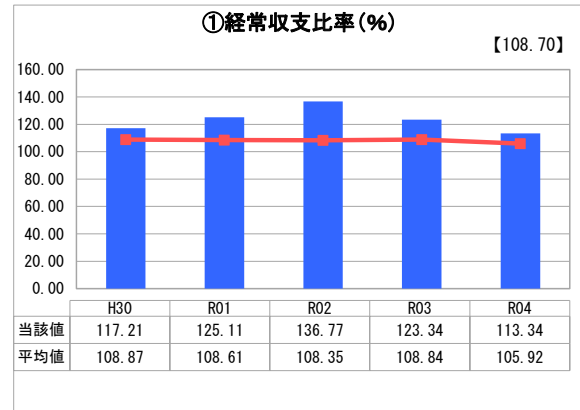
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	水道事業	末端給水事業	A6	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m <sup>3</sup> 当たり家庭料金(円)	
-	84.15	99.48	2,555	

人口(人)	面積(km <sup>2</sup> )	人口密度(人/km <sup>2</sup> )
15,162	40.91	370.62
現在給水人口(人)	給水区域面積(km <sup>2</sup> )	給水人口密度(人/km <sup>2</sup> )
15,030	41.20	364.81

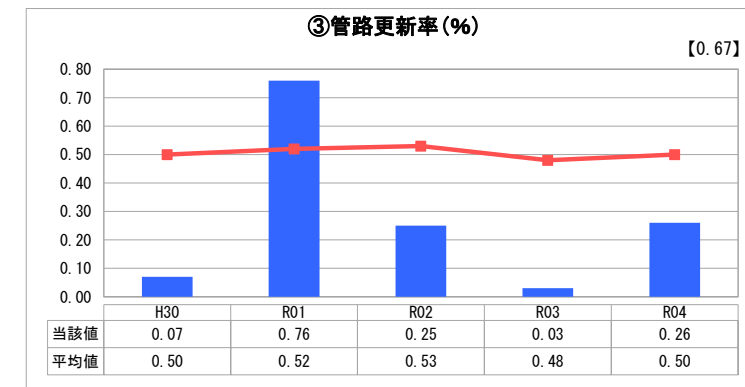
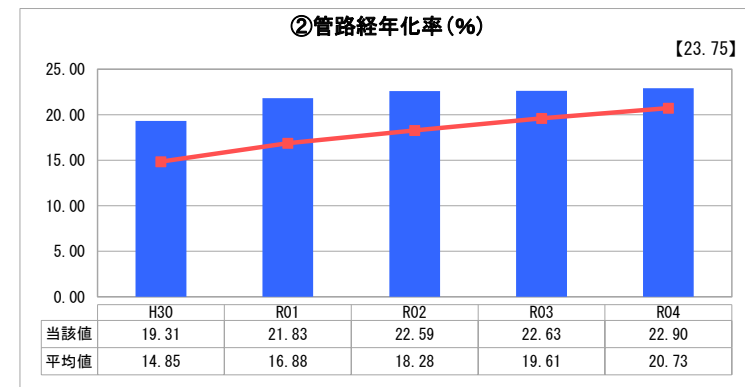
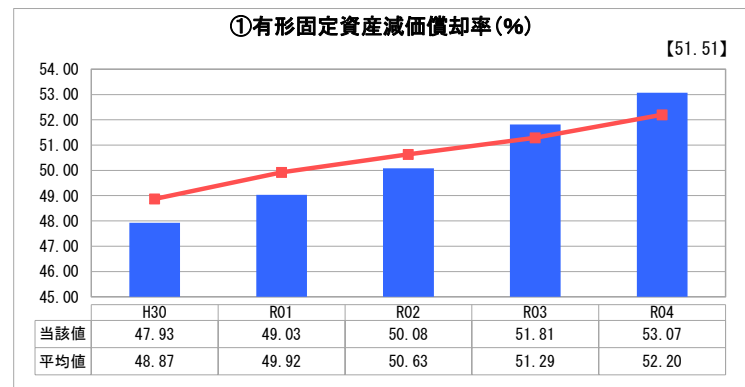
**グラフ凡例**

- 当該団体値(当該値)
- 類似団体平均値(平均値)
- 【】 令和4年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



## 2. 老朽化の状況



## 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

① 経常収支比率は100%を超え、類似団体及び全国平均も上回っています。前年比マイナス10となった要因として、人口減少による需要減・電力価格高騰によるものと考えられます。(⑥給水原価(円)が増加した要因ともなりません。)

④ 企業債残高対給水収益比率は上昇となり、今後の管路更新にかかる投資を見据えた適正な料金改定を検討していく必要があります。

### 2. 老朽化の状況について

① 有形固定資産減価償却率・② 管路経年比率は、類似団体及び全国平均を上回っています。

管路経年比率は、法定耐用年数を経過した管路の老朽化度合を示しております。

### 全体総括

人口減少、節水意識の定着により給水収益は年々減少する中、将来にわたり安全、安心な水の供給のため、老朽施設、老朽管路の更新が急務となっております。